

# 大型クラゲ等有害生物出現調査及び情報提供事業

小泉広明

## 目 的

大型クラゲの出現・分布状況を試験船による洋上調査及び県内漁協・漁業者からの聞き取り等により迅速に把握し、漁業者等に情報提供し漁業被害の軽減を図る。

## 材料と方法

### 1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、日本海及び太平洋で目視調査を実施した。

### 2. 出現量調査

県内の漁協から大型クラゲの出現情報を収集し、関係機関へ配信した。

### 3. 標本船調査

新深浦町漁業協同組合所属の小型定置網漁業船を標本船とし、大型クラゲの入網状況を調査した。

### 4. ブイによる水温連続観測

深浦町新深浦町漁協（大戸瀬）沖水深 30m 地点に設置している自動観測ブイにより、水深 1m 層、10m 層、20m 層、水温の連続観測を実施した。収集したデータは、(社)漁業情報サービスセンターへ配信した。

## 結 果

### 1. 洋上調査

試験船開運丸及び青鵬丸により、本県日本海側の沿岸域から沖合域にかけて調査を実施し（表 1）、その結果を洋上調査結果として(社)漁業情報サービスセンターへ報告した。洋上調査の結果は、全て目視個体数 0 個体であった。

表 1 試験船による洋上調査結果

年月日	試験船名	海域	表面水温(°C)	個体数	傘径(cm)	調査方法
2010/8/31~9/6	開運丸	太平洋	21.4~26.0	0	—	目視
2010/9/10~17	開運丸	日本海	23.6~26.9	0	—	目視
2010/10/6~7	青鵬丸	日本海	19.4~23.4	0	—	目視
2010/10/27~29	開運丸	太平洋	12.4~19.8	0	—	目視
2010/10/30~31	開運丸	日本海	15.1~19.4	0	—	目視
2010/11/24~17	開運丸	太平洋	7.3~16.0	0	—	目視
2011/1/12	開運丸	日本海	10.3~10.5	0	—	目視

### 2. 出現状況調査

収集したのち、(社)漁業情報サービスセンターへ報告したほか、当所が発行する漁海況情報（ウオダス）や当所 HP に掲載し、関係機関へ情報提供を行った。

本県での今年度の出現は11月23日と11月29日に太平洋の六ヶ所村漁業協同組合で確認された2件のみであった。

### 3. 標本船調査

標本船調査の結果、今年度は大型クラゲの出現は確認されなかった。

### 4. ブイによる水温連続観測

水温の推移は6月は水深1m層で14～21℃、10m層で13～20℃、20m層で13～18℃、7月は1m層で21～23℃、10m層で20～21℃、20m層で18℃台、8月は1m層で27℃台、10m・20m層で26～27℃、9月以降は1m・10m・20m層とも28～24℃、10月は23～20℃、11月は18～15℃、12月は16～12℃、1月は12～10℃と推移した。なお、7月第4半旬から8月第3半旬の欠測はブイのメンテナンスのためである。

水深1m・10m・20m層共に9月第1半旬に水温のピークがあり、その後、降温が続いた。ピーク時の水温は1m層で28.1℃、10m層で27.8℃、20m層で27.7℃であった。

なお、観測データはEメールにより(社)漁業情報サービスセンターへ自動送信された。

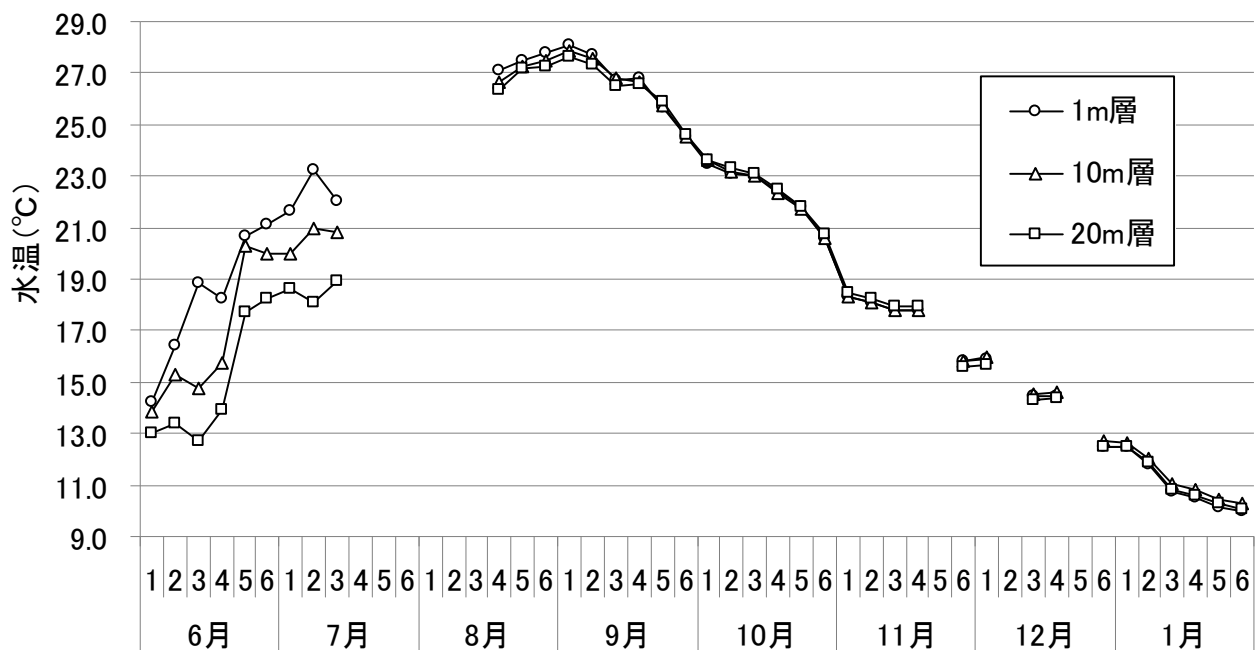


図1 水温ブイによる水深別水温観測結果（半旬平均）